

令和5年度 音楽科

学年	1	週授業コマ数	1.5	富中授業時数(45分)	50	標準授業時数(50分)	45
使用教科書	一般：「中学生の音楽1」（教育芸術社） 器楽合奏：「中学生の器楽」（教育芸術社）						
副教材等	学習の達成（新学社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の到達度は、授業の準備をきちんとし、意欲的に練習・活動に参加しているか、また、授業で配付するプリントやワークシート、実技テスト、定期テスト等で評価します。</li> <li>・合唱・合奏は一人ではできない体験です。みんなと協力してのびのびと表現できる雰囲気を作りましょう。</li> <li>・「合唱」「器楽」そして「鑑賞」などを通して、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じ取り意欲的に取り組んでいきましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。</li> <li>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</li> <li>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を身に付ける。</li> </ol>
---

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	新しい仲間とともに、明るい歌を響かせよう(4)	・校歌 ・ We ' ll Find The Way ～ はるかな道へ	a. 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。 b. 拍の流れ、音のつながり方、フレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 実技 テスト 定期 テスト	観察 プリント	観察 ワーク シート
	曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう(3)	・主人は冷たい土の中に ・リズムゲーム ・リズムアンサンブル	a. 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。 b. リズムパターンとその反復や変化、フレーズ、終止感、二部形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 定期 テスト	観察 定期 テスト	観察 ワーク シート
	音楽の特徴から情景を想像しよう(3)	◎春 ― 第1楽章 ―	a. 知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解している。 b. 楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッコ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取るとともに、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c. 楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッコ形式と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッコ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。	観察 定期 テスト	観察 プリント	観察 ワーク シート

<p style="text-align: center;"><b>曲想やパートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう(4)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜辺の歌</li> <li>・朝の風に</li> <li>・Let's Search For Tomorrow</li> </ul>	<p>a. 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</li> </ul> <p>b. 声の音色、和音を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍の流れ、旋律の動き、フレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</li> </ul> <p>c. 声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>
<p style="text-align: center;"><b>曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう(4)</b></p>	<p>◇アルト リコーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喜びの歌</li> <li>・かっこう</li> <li>・聖者の行進</li> </ul>	<p>a. 曲想を生かした音楽表現をするために必要な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーの特徴を捉えた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。</li> </ul> <p>b. アルトリコーダーの音色、タンギング、アーティキュレーション、音や旋律の組合せ方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、アルトリコーダーの特徴を捉えた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律、アーティキュレーション、音や旋律の組合せ方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</li> </ul> <p>c. アルトリコーダーの特徴(楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ)に関心をもち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 実技 テスト 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>

	<p>雅楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう(3)</p>	<p>◎ 平調「越天楽」 — 管絃 —</p>	<p>a. 謡の声の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方などの技能を身に付けて歌っている。</li> </ul> <p>b. 雅楽の音楽を形づくっている楽器の音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の特徴を理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>c. 雅楽の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、雅楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連、音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲種に応じた発声や言葉の特性に関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察</p>	<p>観察 ワーク シート</p>
後期	<p>詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう(3)</p>	<p>◎魔王</p>	<p>a. 声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化を知覚し、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解している。</p> <p>b. 声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>c. 詩の内容と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>
	<p>日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう(4)</p>	<p>・心の歌 赤とんぼ(共通教材) ・歌い継ごう 日本の歌</p>	<p>a. 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</li> </ul> <p>b. フレーズ、旋律線のもつ方向性、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律線のもつ方向性、フレーズ、音や旋律の組合せ方、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</li> </ul> <p>c. 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>

	<p>箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう(4)</p>	<p>◎六段の調 ◇さくらさくら</p> <p>a. 箏の音色、序破急、速度の変化、平調子、奏法による音高や余韻の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の特徴を捉えた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。</li> </ul> <p>b. 箏の音色、音のつながり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、箏の特徴を捉えた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の音色、序破急、速度の変化、平調子、奏法による音高や余韻の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。</li> </ul> <p>c. 箏の音色、序破急、速度の変化、平調子、奏法による音高や余韻の変化と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・箏の特徴(楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ)に関心をもち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察</p>	<p>観察 ワーク シート</p>
<p>(4)</p>	<p>仲間とともに、表情豊かに合唱しよう</p>	<p>・カリブ 夢の旅 ・心通う合唱</p> <p>a. 歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</p> <p>b. 速度の変化、強弱の変化、前半と後半の対照を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知覚・感受しながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</li> </ul> <p>c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 実技 テスト 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト 定期 テスト</p>	<p>観察</p>

<p>フレージのまとまりを感じ、低い音域や高い音域のタンギングと息のスピードを身につけよう(4)</p>	<p>◇アルトリコーダー ・オーラリー ・アニーローリー</p>	<p>a. 曲想を生かした音楽表現をするために必要な奏法, 呼吸法, 姿勢や身体の使い方などを理解している。 ・アルトリコーダーの特徴を捉えた音楽表現をするために必要な, 基礎的な奏法, 呼吸法, 姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。</p> <p>b. アルトリコーダーの音色, タンギング, アーティキュレーション, 音や旋律の組合せ方を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, アルトリコーダーの特徴を捉えた音楽表現を工夫し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・旋律, アーティキュレーション, 音や旋律の組合せ方を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 曲想を感じ取って音楽表現を工夫し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c. アルトリコーダーの特徴(楽器の構造や奏法, 音色や響き, よさ)に関心を持ち, 基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・曲想に関心を持ち, 音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 実技 テスト 定期 テスト</p>	<p>観察 プリント</p>	<p>観察</p>
<p>パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう</p>	<p>「器楽合奏」</p>	<p>a. 声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な奏法, 呼吸法, 姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。</p> <p>b. 楽器の音色, リズム, 旋律の音の動きや重なり方, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し, どのように合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c. 声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち, 音楽表現を工夫しながら合わせて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察</p>	<p>観察 プリント</p>	<p>観察</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

## 令和5年度 音楽科

学年	2	週授業コマ数	1.1	富中授業時数(45分)	39	標準授業時数(50分)	35
使用教科書	一般：「中学生の音楽2・3上・下」（教育芸術社） 器楽合奏：「中学生の器楽」（教育芸術社）						
副教材等	学習の達成（新学社）						

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の到達度は、授業の準備をきちんとし、意欲的に練習・活動に参加しているか、また、授業で配付するプリントやワークシート、実技テスト、定期テスト等で評価します。</li> <li>・合唱・合奏は一人ではできない体験です。みんなと協力してのびのびと表現できる雰囲気を作りましょう。</li> <li>・「合唱」「器楽」そして「鑑賞」などを通して、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じ取り意欲的に取り組んでいきましょう。</li> </ul>
---

### 2 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。</li> <li>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</li> <li>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を身に付ける。</li> </ol>
---

### 3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	曲想を生かして、表現を工夫しよう(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の世界を</li> <li>・リズムゲーム</li> <li>・リズムアンサンブル</li> <li>◇アルト リコーダー</li> <li>・ラバースコンチェルト</li> </ul>	<p>a. 歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーの特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。</li> </ul> <p>b. 8分の6拍子、斉唱と混声三部合唱のテクスチュア、二部形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーの音色、音や旋律の組合せを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、アルトリコーダーの特徴を理解し、基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</li> </ul> <p>c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーの特徴(楽器の構造や奏法、音色の響き、よさ)、基礎的な奏法(タンギング、アーティキュレーション、サミングなど)に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	観察 実技 テスト 定期 テスト	観察 プリン ト 定期 テスト	観察 ワーク シート
	表現を工夫しよう(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翼をください</li> </ul>	<p>a. 歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</p> <p>b. 旋律の重なり方や伴奏のリズムの変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c. 歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	観察 定期 テスト	観察 定期 テスト	観察 ワーク シート



	<p>詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう(4)</p>	<p>・心の歌 夏の思い出 ・夏の日の贈りもの</p> <p>a. 歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。 ・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。 b. 旋律の音の動きやフレーズ、強弱、伴奏を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・旋律の音の動きやフレーズ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 実技 テスト 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト 定期 テスト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>
	<p>味わおう(2)</p> <p>旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを</p>	<p>◎フーガ ト短調</p> <p>a. 声や楽器の音色、言葉の抑揚、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解している。 b. 声や楽器の音色、言葉の抑揚、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c. 声や楽器の音色、言葉の抑揚、リズム、速度、旋律と曲想とのかかわりや、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>
<p>後期</p>	<p>(3)</p> <p>曲の構成を理解して、曲想を味わおう</p>	<p>◎交響曲第5番 ハ短調</p> <p>a. オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組合せ方、ハ短調、ソナタ形式を知覚し、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解している。 b. オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組合せ方、ハ短調、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c. オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組合せ方、ハ短調、ソナタ形式と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>

<p>(3) 情景を思い浮かべながら、表情豊かに演奏しよう</p>	<p>◇アルトリコーダー ・ふるさと</p>	<p>a. アルトリコーダーの特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。 b. アルトリコーダーの音色、アーティキュレーション、音や旋律の組合せ方・8分の6拍子、音のつながり方、フレーズ、強弱の様々な変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、アルトリコーダーの特徴を理解し、基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 c. アルトリコーダーの特徴（楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ）、基礎的な奏法（タンギング、アーティキュレーション、サミング）に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 実技 テスト 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト</p>	<p>観察</p>
<p>(4) 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう</p>	<p>・心通う合唱</p>	<p>a. 歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。 b. 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 c. 歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察</p>
<p>歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう(3)</p>	<p>◎「勸進帳」から ・長唄「勸進帳」</p>	<p>a. 声や楽器の音色、節回し、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解している。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌っている。 b. 長唄の声の音色、節回し、唄い尻を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・声や楽器の音色、節回し、リズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c. 声や楽器の音色、節回し、リズム、速度と曲想とのかかわりや、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察 プリン ト</p>	<p>観察 ワーク シート</p>

<p>曲想を生かして、表現を工夫しよう③</p>	<p>◇アルトリコーダー ・涙そうそう</p>	<p>a. アルトリコーダーの特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。 b. アルトリコーダーの音色、アーティキュレーション、音や旋律の組合せ方、音のつながり方、フレーズ、強弱の様々な変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、アルトリコーダーの特徴を理解し、基本的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 c. アルトリコーダーの特徴（楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ）、基本的な奏法（タンギング、アーティキュレーション、サミング）に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期 テスト</p>	<p>観察</p>	<p>観察</p>
<p>パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう</p>	<p>「器楽合奏」</p>	<p>a. 声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。 b. 楽器の音色、リズム、旋律の音の動きや重なり方、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。 c. 声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察</p>	<p>観察 プリン ト</p>	<p>観察</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

## 令和5年度 音楽科

学年	3	週授業コマ数	1.1	富中授業時数(45分)	39	標準授業時数(50分)	35
使用教科書	一般：「中学生の音楽2・3上・下」(教育芸術社) 器楽合奏：「中学生の器楽」(教育芸術社)						
副教材等	学習の達成(新学社)						

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の到達度は、授業の準備をきちんとし、意欲的に練習・活動に参加しているか、また、授業で配付するプリントやワークシート、実技テスト、定期テスト等で評価します。</li> <li>・合唱・合奏は一人ではできない体験です。みんなと協力してのびのびと表現できる雰囲気を作りましょう。</li> <li>・「合唱」「器楽」そして「鑑賞」などを通して、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じ取り意欲的に取り組んでいきましょう。</li> </ul>
---

### 2 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。</li> <li>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</li> <li>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を身に付ける。</li> </ol>
---

### 3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	(4) 日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の歌 花(共通教材)</li> <li>・My Voice!</li> <li>・心の歌 早春賦</li> <li>・Let's Create! リズムアンサンブル</li> </ul>	<p>a. 歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。</li> </ul> <p>b. 音のつながり方、フレーズ、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8分の6拍子、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</li> </ul> <p>c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 実技テスト 定期テスト</p>	<p>観察 プリント 定期テスト</p>	<p>観察 ワークシート</p>
	曲想や語感を生かして、表現を工夫しよう(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰れソレントへ</li> <li>・Let it Be</li> </ul>	<p>a. 歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。</li> </ul> <p>b. 速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポピュラー音楽の声の音色、英語の語感を生かしたリズムや旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わう、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</li> </ul> <p>c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち、それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>観察 定期テスト</p>	<p>観察 定期テスト</p>	<p>観察 ワークシート</p>

<p>う (2)</p> <p>音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう</p>	<p>◎ブルタバ(モルダウ)</p>	<p>a. 旋律、速度、強弱、楽器の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解している。</p> <p>b. 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>c. 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期テスト</p>	<p>観察 プリント 定期テスト</p>	<p>観察 ワークシート</p>
<p>う (3)</p> <p>フレーズのまとまりを感じて、表現を工夫しよう</p>	<p>◇アルトリコーダー ・威風堂々</p>	<p>a. アルトリコーダーの特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。</p> <p>b. アルトリコーダーの音色、アーティキュレーション、音や旋律の組合せ方、音のつながり方、フレーズ、強弱の様々な変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、アルトリコーダーの特徴を理解し、基本的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c. アルトリコーダーの特徴（楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ）、基本的な奏法（タンギング、アーティキュレーション、サミング）に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 実技テスト 定期テスト</p>	<p>観察 プリント</p>	<p>観察</p>
<p>う (4)</p> <p>パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう</p>	<p>・花の街 ・心のかよう合唱</p>	<p>a. 創意工夫を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。</p> <p>・声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</p> <p>b. 旋律の音の動き、フレーズ、旋律の重なり方、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>・声の音色、テクスチャを知覚・感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わう、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c. 声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期テスト</p>	<p>観察 定期テスト</p>	<p>観察</p>

後期	オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう(2)	<p>◎「アイダ」から</p> <p>a. 声の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりを知覚し、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりや、音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解している。</p> <p>b. 声の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりや、音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>c. 声の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりと曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・音楽の特徴と他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	観察 定期テスト	観察 プリント	観察 ワークシート
パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう(4)	◇アルトリコーダー ・エーデルワイス	<p>a. アルトリコーダーの特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方などの技能を身に付けて演奏している。</p> <p>b. アルトリコーダーの音色、アーティキュレーション、音や旋律の組合せ方、音のつながり方、フレーズ、強弱の様々な変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、アルトリコーダーの特徴を理解し、基本的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c. アルトリコーダーの特徴（楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ）、基本的な奏法（タンギング、アーティキュレーション、サミング）に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	観察 実技テスト 定期テスト	観察 プリント	観察
能の特徴を理解して、その魅力を味わおう(4)	◎能「敦盛」から	<p>a. 謡の声の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解している。</p> <p>・謡の声の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>b. 能の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <p>・知覚・感受しながら、音楽の特徴を理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>c. 能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、能の特徴とその背景となる文化・歴史との関連、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	観察 定期テスト	観察 プリント	観察 ワークシート

<p>わお(3)</p> <p>世界の音楽の特徴を理解して、その魅力を味</p>	<p>◎世界の諸民族の音楽、ポピュラー音楽</p>	<p>a. 楽器の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて、世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解している。</p> <p>b. 楽器の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する、世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。</p> <p>c. 音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、世界の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 定期テ スト</p>	<p>観察</p>	<p>観察 ワーク シート</p>
<p>仲間とともに、表情豊かに合唱しよう(6)</p>	<p>・歌い継ごう 日本の歌 ・心通う合唱 ※卒業式に向けて ・国歌「君が代」 ・校歌</p>	<p>a. 歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。</p> <p>・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを理解している。</p> <p>b. 言葉のまとまりと旋律の音の動き、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>c. 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 実技テ スト 定期テ スト</p>	<p>観察 プリン ト 定期テ スト</p>	<p>観察</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度